5 01 Photoshopper 太 meets Fireworks 編



デザイン制作工程における PhotoshopとFireworksの 使い分けについて

- デザインコンテスト作品は こうやって作ったんよ

自己紹介



あべ さえか

阿部 冴香 @brightflavor

えひめ

愛媛県松山市在住

2007年9月 株式会社アイムービック入社

2010年4月 Webデザイナーになる

自社紹介



社員 17名 全員で新しい技術を追いかけています



提出課題について

課題「FM茶笛」について



(コンテスト当時のFM茶笛サイト)









作品の入稿は



ですが

Ps

も使って制作しています



Ps Photoshopの強み

- ・写真の色調整が綺麗に調整できる
- グラデーションが滑らかに表現される
- ・細かな切り抜きがしやすい (特に髪の毛)



Fireworksの強み

- 全体的なサイズ感がすぐにわかる
- 角丸図形を描いたり調整しやすい (あとで角丸の半径を調整できる)
- パスで線がさっと描ける
- 制作ファイルが軽い

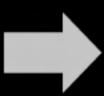
PS

Photoshopを利用した部分



1. 加藤登紀子さんの切り抜き







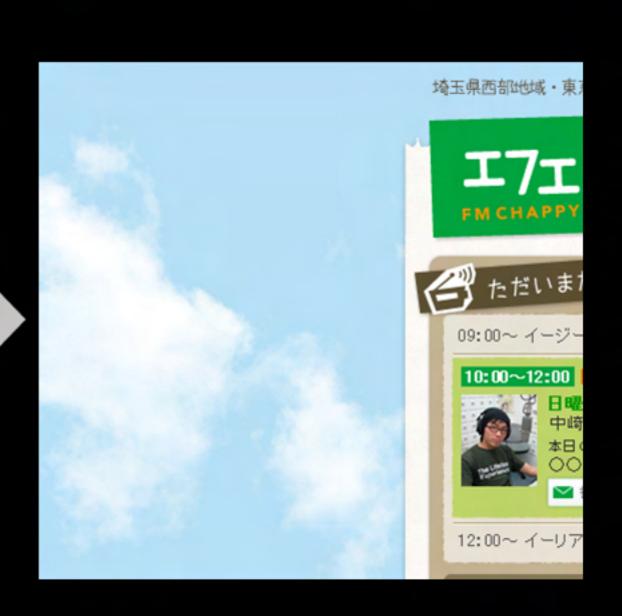
体・顔輪郭部分はペンツール、 髪の毛はアルファチャンネル利用



2. 背景の雲の切り抜き



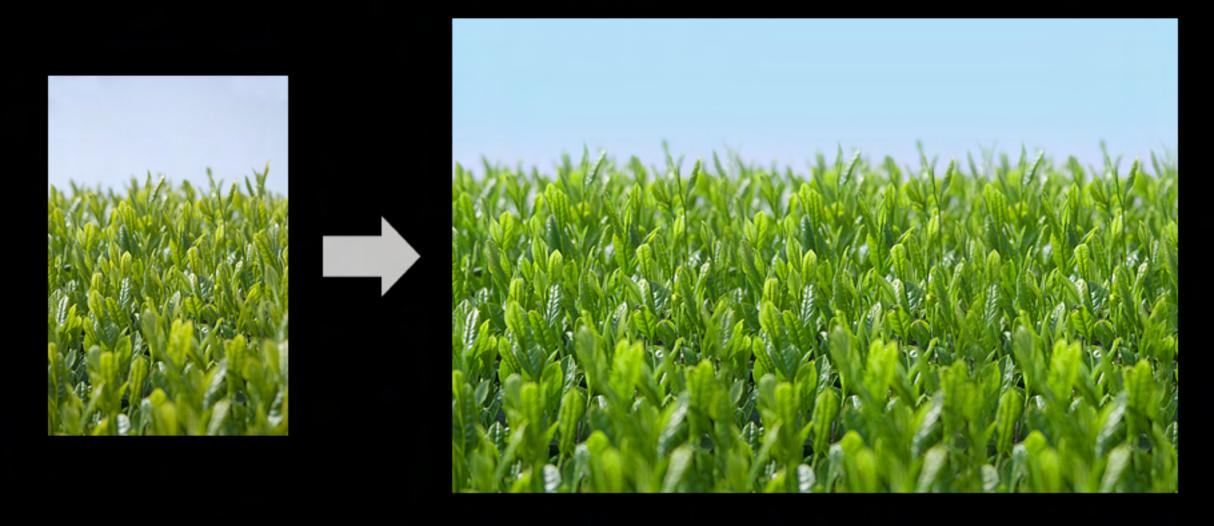
Photo by (c)Tomo.Yun (http://www.yunphoto.net)



空と雲がはっきり分かれている写真を使い アルファチャンネルを利用



3. 背景のお茶畑写真の調整



- グラデーションマスクでお茶畑写真のつなぎ目処理
- •「トーンカーブ」「色相・彩度」で鮮やかに調整



4. スケッチブック紙の調整



違和感が出ないように スケッチブック紙の連続画像制作



Fireworksを利用した部分



1. ワイヤーフレーム制作



最初にざっくりとパーツ配置



2. 角丸枠の制作



長方形ツールで描き、 『丸み』で角丸の半径を調整



3. 見出し・ボタン・アイコンの制作



検索 文字サイズ 小 中 大 ● 週間番組表 ● 音楽工房情報 ● DJ紹介 ● 会社概要

パス、長方形ツールなどでざくざく制作



4.「スキャンダルなんかブッ飛ばせ」バナーの 背景のチェック柄



テクスチャ機能を使って制作

Photoshopだから Fireworksだからではなく

それぞれの特徴を 生かして使うことが大事



仕上がりのクオリティも 作業効率も上がる

作業効率を上げてさらに…

- ・余った時間で次の仕事をする
- ・技術をもつと磨く
- ・ディレクションやその他の勉強にも励む

より良い制作Lifeを!

ありかとうござました。



a) bright flavor

おまけ

PhotoshopとFireworksの強みやむ落ち分

※セミナー内やTwitterなどで、すでに言われてしもた分もあるんやけど、とりあえず全部まとめて書くけん。

Ps Photoshopの強み

- ユーザーが多い (=テンプレートやプラグイン、チュートリアル、カスタムブラシなども豊富)
- フィルタの種類が多い (=それだけ様々な表現のものを作りやすい)
- グラデーションがついたGif切り出しがきれい
- 印刷対応しやすい (CMYK変換可能。DTPに回すときに対応してるかどうかの心配はまずない)
- マスクがしやすい (Fwだと、クリッピングマスク機能がないのでひとつひとつマスクしていくのが面倒)

Fw

Fireworksの強み

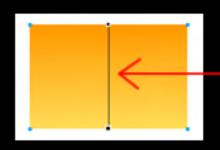
PNG形式での保存なので、 ビュアーがなくてもすぐに確認できる

(プログラマーさんや営業さんはビュアー持っていないと考えていいです…)

スライスしやすい

(鷹野さん&バシャログ坂井さん・南さんのセッション参照)

グラデーションの方向変更・操作がしやすい



クオリティはPsの方が上だが、Fwだと、 こういう線が出てきてささっと方向操作ができる

Psよりも安く買える

(「ElementsとかLightroomの方が安いやん!」とツッコまれそうですが この2つはスライス機能がないので対象外としました)